

あ と が き

「時間貧乏」という言葉があるらしい。「雑事に時間を取られ、本来の活動に当てられる時間が無い状態」、と理解している。小生のような研究・教育に携わる（或いは、携わっているつもり）者が「お金貧乏」である事は当然と思うが、「時間貧乏」であるのならばゆゆしきことである。お金と時間の両方が無ければ立つ瀬がない。しかし、「貧乏暇無し」という言葉もある・・・。

小生の本来の活動は研究・教育のはずだ。果たして、研究・教育に十分に時間を当てているか？返事につまる。この「あとがき」も雑事かもしれないが、今年こそ「時間貧乏」から脱却したい。

井頭 政之

iga@nr.titech.ac.jp

核データニュース編集委員会

中川 庸雄(委員長、原研)、井頭 政之(東工大)、岩本 修(原研)、喜多尾 憲助(データ工学)、長谷川 明(原研)、吉田 正(武蔵工大)